

農業法人等チャレンジ雇用支援事業【福島県】

事例紹介

重点分野雇用創出事業 【農林水産分野】

本事業は、農業法人等が、経営を発展させるために必要となる様々な課題やその解決方法等を実証事業を通じて明らかにし、その成果を広く活用することによって、円滑な雇用と経営の安定に役立てることを目的として実施するものです。加えて、雇用された方には、これを機会に農業の楽しさを認識していただき、事業終了後も農業に携わっていただければ担い手の確保というさらなる効果も期待できます。

事業概要

失業者を雇用して、新規部門の導入や既存部門の拡大等を図る農業経営の発展モデル計画を作成した農業法人等を実証事業を委託する。

委託先

県内農業法人等
平成22年度:43法人

新たな 雇用創出数

平成22年度:72人

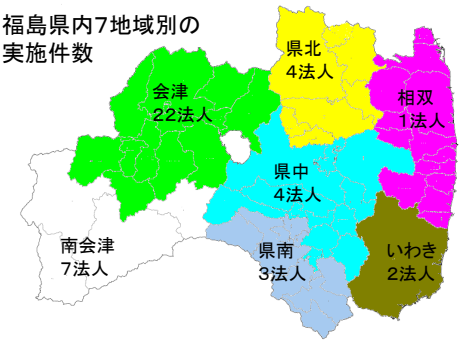
事業費

平成22年度:約12,633万円

事業の開始

平成22年4月～

福島県内7地域別の
実施件数



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

福島県 0.38倍(季節調整値)

実証事業は 様々

遊休農地の解消

アスパラガス(施設)の規模拡大

肉用牛の肥育頭数の拡大

会津地鶏の増産と販路拡大

菌床しいたけ栽培の規模拡大

テッポウユリ栽培の規模拡大

農業法人の 代表の声

新規雇用により経営規模を拡大することができ、販売
収入額が増加。



(有)丸栄花材(須賀川市)
代表取締役 本田 博行さん
テッポウユリの規模拡大(平成21年度3名雇用、平成22年度3名雇用)

以前から拡大を考えていた部門について、
今回の事業を活用することで規模拡大を
実現することができました。平成21年度に雇
用した方については、引き続き雇用しており、
将来的には経営発展に貢献するような人材
に育てていきたいと思っています。



《作業状況》

雇用者の声

農業未経験の方も仕事に慣れ、委託契約終了後も継
続雇用を希望。

農業は初めてでしたが、物を作る楽し
さを経験できて非常に充実していま
す。事業終了後も継続雇用を希望す
るつもりです。

自分もいつかは農業に本格的に
取り組みたいと思っていますが、
ここでの経験が自分の将来の農
業経営に役立つと思います。

二本松農園(二本松市):遊休農地の解消、キュウリ畑の拡大
(平成21年度2名雇用、平成22年度3名雇用)



《二本松農園の雇用者の皆さん》

今後の姿と 課題

○平成21年度事業終了後の継続雇用状況

117人中77名が引き続き継続雇用(パート・アルバイトを含む。)

平成23年度まで当事業を継続して実施していくことで、失業者の農業法人等への雇用を
推進し、農業法人等の経営安定を支援していきたい。(福島県農業振興課長)

事例紹介

重点分野雇用創出事業

【農林水産分野】

【ねらい】

経営の複合化・多角化や規模の拡大を図ろうとする農業法人や先進農業者等において失業者を雇用していただき、これまで農業になじみの無かった方に対して、農業に関する経営・生産技術の習得や農業理解を促進することにより就農・就業を推進し、本県農業の担い手確保を加速したいと考えております。

事業概要

農繁期の農作業、育苗施設や農産物の集出荷施設等における作業従事者を雇用し、農業に関する経営・生産技術の習得や農業理解を促進するとともに、本県農業への就農・就業を推進する。

委託先

県内 農業法人、農業協同組合等(144事業者)

新たな雇用創出数

183人

事業費

16,499万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～



新潟県

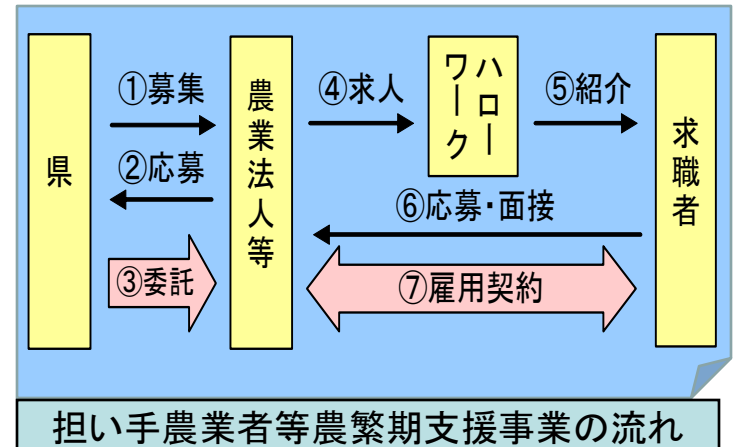
地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

新潟県0.51倍(季節調整値)

業務内容

- 農繁期の農作業
移植、肥培管理、収穫、調整作業等
- 農産加工・直売・農家レストラン等の作業
農産物の加工作業、直売所の接客・陳列作業、農家レストランでの接客作業等
- 育苗施設や農産物の集出荷施設等における作業
JAのカントリーエレベーター、ライスセンター、育苗施設や果樹・野菜等の集出荷施設における作業等



受託法人等の声

平成22年度は、県内144の農業法人等に受託していただき、新規雇用者に対し、経営・生産技術の習得や農業理解の促進を行っています。



新規雇用者には、自分が育てた農産物を、責任を持って消費者の手元に届けることの大変さと喜びを実感していただきたいと思います。

(有)坂井ファームクリエイト
代表取締役 坂井 孝一 さん



昨年から当事業を活用して雇用しており県内初の多目的防災網(自然災害から果実を守る)の施工や輸出用の梨の穂木収集に取り組むことができました。今年度の新規雇用者には新規部門の枝豆栽培にも取り組んでもらっています。

(株)白根大郷梨中村観光果樹園
代表取締役 中村 芳雄 さん

新規雇用者の作業の様子

県内各地で様々な農作業に従事しています。



直売所を開設しているこの農業法人では、農産物の栽培から収穫、販売まで一連の作業を行っています。
【新潟市:有限会社坂井ファームクリエイトにて】



梨の袋掛けは繊細さとスピードと体力のどれも重要。
新規雇用者のおかげで作業は順調に進んでいます。
【三条市:高野果樹園にて】



土作りに力を入れているこの果樹園では、たい肥の切り返し作業もおいしい果物を作るための大切な作業です。
【新潟市:株式会社白根大郷梨中村観光果樹園にて】

新規雇用者の声



以前から農業に興味があり、人が生きていく上で大切な「食」の生産・販売に関わることができやがいを感じています
【(有)坂井ファームクリエイト Aさん】

事例紹介

重点分野雇用創出事業 【農林水産分野】

山梨まんなか市場は、これまでの郊外型ではなく、市街地に設置された新しいタイプの直売所。直売所がなかった市街地でのニーズが多く、ご好評いただいております。今後も地元と協力し、共に中心市街地活性化に取り組んで参りたいと考えております。



山梨まんなか市場
斎藤店長

事業概要

地産地消の推進と中心市街地の活性化を図るため、中心市街地の店舗を活用して、県産農産物と県産加工品の消費者への直接販売や、農産物の情報発信に係る業務を行う。

委託先

合同会社 まちづくり甲府
(甲府市中心商店街の活性化を目指す合同会社)

新たな 雇用創出数

4名

事業費

2,100万円

事業の開始

平成22年4月～

業務内容 (機能)

- ・ 販路開拓を求める新規就農者が消費者ニーズをつかむアンテナショップ
- ・ 中山間地域の小規模生産者のこだわり農産物を販売していく拠点
- ・ これまで販売に向けられなかった自家消費農産物の試験的な販売
- ・ 甲斐路の認証食品など特色ある加工品を一堂に集めたショーウィンドウ

取扱商品

農産物や加工品を出品する農業団体、生産組織などで任意の「出荷者会」を構成し、商品を提供していただいています。

県内産農産物



山梨県農産物等認証制度 甲斐路の認証食品 (3Eマーク)

本県で生産される農産物を主たる原材料として、県内で生産される加工食品等について基準を定め、その基準に適合しているものを山梨県が認証する制度です。

詳しくは下記HPを御覧ください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kaju/3e.html>



山梨県

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

山梨県 0.52倍
(季節調整値)



お客さま
からの声

1日の平均購買者数 約200名（女性8割・男性2割、約半数が60歳以上、近隣の住民が多数。）
「新鮮でおいしい、便利でありがたい」などの好意的な意見が大多数。

新鮮で安いのが魅力。

郊外にまで買い物に行くのは大変。
中心街に直売所ができてとても便利。

スタッフの
みなさん

中心商店街の活性化に貢献でき、お客様の
喜ぶ声や笑顔にふれることにとても働き甲
斐を感じています。

商品の陳列にはいつも
気を使っています。



山梨まんなか市場
スタッフ一同



いつもご来店
ありがとうございます！



【商品棚に並ぶ山梨県産農産物】



【オープンセレモニー テープカット】

今後の姿
と課題

- ・中心商店街と協力した賑わいづくり
- ・品数、品揃えの充実
- ・雇用対策事業終了後の継続運営

オープンからお客様より多くのご好評・ご要望の声をいただき、予想以上の反響となりました。地産地消の都市型店舗に手ごたえを感じています。今後も中心街活性化に貢献できるように地域と共に活動していきたいです。

合同会社 まちづくり甲府 岡さん <http://genkinamachi-kofu.com/>



【オープン 当日】

農業用水の取水施設に付帯する魚道の効果検証業務事業【静岡県】

事例紹介

重点分野雇用創出事業 【農林水産分野】



頭首工と魚道(全景)



定置網

事業概要

農業農村整備事業により設置した頭首工（農業用水の取水施設）に付帯する魚道のうち、近年設置した県内32箇所について、魚類の遡上調査を行い、魚道の効果を検証するとともに、今後、更新整備する頭首工の魚道計画の資料を収集する。

委託先

(株)フジヤマ

新たな 雇用創出数

12人

事業費

2,552万円

事業の開始

平成22年3月～

業務内容

- ・定置網による魚道を遡上した魚類の捕獲
- ・捕獲した魚類の魚種、個体数等のデータ収集・整理
- ・調査結果のとりまとめと検証



捕獲された魚類

関係者の声

アユ等の放流をしている漁協関係者から結果を教えてほしいとの声が各所から寄せられている。(結果は漁業関係者に提供する予定である。)

効果

人員を要する業務であったため、雇用促進創出事業は最適であった。
また、いままで県の出先機関等が個々で行っていた調査を、今回、方法・時期等を統一して、一括実施したことにより、相互比較が可能なデータの収集ができた。
今後は得られたデータを検証し、現場に活かすことによって、自然環境に配慮した農業農村整備事業を推進する。



定置網設置状況



定置網全景



魚類の採寸(アユ)



魚類の採寸(手長エビ)



捕獲された絶滅危惧種のアカザ



データの整理作業

白色系アコヤガイ交配試験緊急雇用創出事業【三重県】

事例紹介

重点分野
雇用創出事業
【農林水産分野】

三重県の英虞湾は真珠のふる里として世界的に有名です。三重県では、国産アコヤガイ真珠の特徴であるピンク系の真珠を効率よく生産できるピース貝の系統を新たに作出しました。今回の取組で、ピース貝の更なる改良により、高品質白色系アコヤピース貝を安定的に供給できるようになれば、地場産業である真珠養殖の振興につながり、地元雇用の創出も期待されます。



(財)三重県水産振興事業団
理事長 永富洋一さん

事業概要

三重県が実施する、白色系アコヤガイ改良を目的とする交配試験により生産したアコヤガイ稚貝について、飼育員を雇用して飼育管理を行います。

委託先

財団法人三重県水産振興事業団
所在地: 三重県津市、従業員数: 22名

事業開始

平成22年4月～

事業費

約652万円(平成22年度)

新たな 雇用者数

2名

事業内容

生産したアコヤガイ稚貝を海面筏で飼育管理します。
稚貝の成長や生残、生理状態などを調査します。



三重県



アコヤガイ稚貝

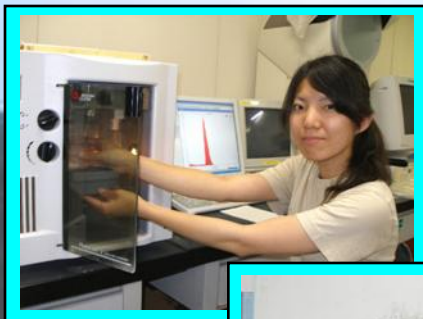


伊勢志摩で育まれた真珠

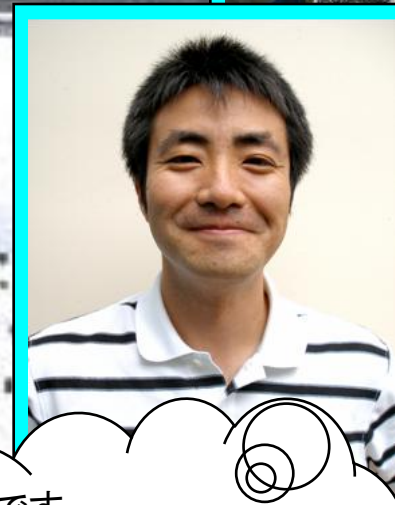
地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

○三重県	0.54倍
	(季調値)
○伊勢管内	0.50倍
	(原数値)

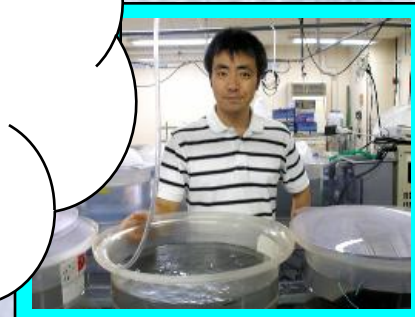
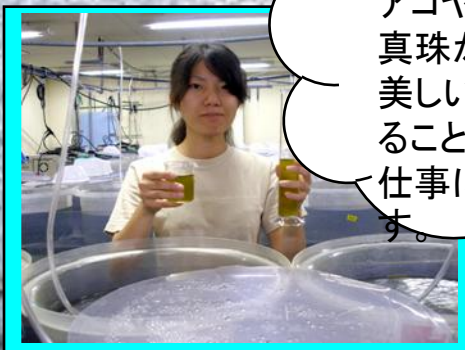


アコヤガイ飼育スタッフのみなさん



井田です。
今回生産し、育てている
アコヤガイは数年後に
真珠が生産されますが、
美しい真珠が生産され
ることを楽しみに、この
仕事に取り組んでいます。

石川です。
真珠養殖が始まって
から100年以上経って
も、まだ解らないことが
多いアコヤガイですが、
綺麗な真珠を作る良
いアコヤガイを目指し
て、日々努力しており
ます。



今後の抱負(永富理事長)

高品質アコヤガイを安定的に供給する体制を構築して、
真珠産業の振興と地域の活性化に貢献していきたいと思っています。

「第62回全国植樹祭」PRキャラバン事業 【和歌山県】

事例紹介

重点分野 雇用創出事業 【農林水産分野】

和歌山放送は和歌山県域をサービスエリアとするAMラジオ局です。
「全国植樹祭」のPRを通じて、和歌山県の豊かな森林の大切さを再認識していただき、次代を担う子供たちに引き継いでいこうという思いを込めて活動しています。
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を代表とする紀州「木の国」の豊かな山々の魅力をぜひ多くの皆様に伝えていきたいと考えています。



株式会社 和歌山放送
社長 中島耕治さん

事業概要

平成23年春季に開催される第62回全国植樹祭の広域的なPR活動を行うスタッフを雇用し、県内各地のイベント等で植樹祭のPRを行う。(5月からPR活動を開始)

委託先

株式会社 和歌山放送
(本社:和歌山県和歌山市)
従業員数30人

新たな 雇用創出数

5人

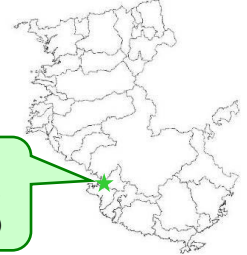
事業費

約1,071万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年5月～

和歌山県



第62回
全国植樹祭会場
(PRは県内各地)

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

和歌山県 0.53倍(季節調整値)
【平成22年5月】

業務内容

シンボルキャラクター『キノピー』と一緒に、地域イベント等に参加しPR活動。

イベント等での啓発物の配布、イベント等の開催。
活動内容のブログ作成。

1日5名体制。週に2～3回活動。



県内各地のイベントに訪問
いつも子供には人気があります。

キャラバン隊員 のみなさん

5人のスタッフ(1人は「キノピー」)が平成23年春、和歌山県で開催される全国植樹祭のPRキャンペーンを展開しています。



シンボルキャラクター
キノピー

僕 キノピー
木の妖精なんです。
仲よくしてね。



スタッフ
橋本友希さんとキノピー

全国植樹祭のことを皆
さんに知ってもらおうと
ともに、森の大切さを学
んでもらえたらいいで
すね。



《子どもたちに苗木を育てて
もらってます。》

県民の声

子どもたちの時代にも和歌山の山が変わらないでほ
しい。緑を大切にしていきましょう！

私たちが育てた苗が森になるのが
楽しみ。僕たちもがんばるよ。
植樹にも行きたいね。

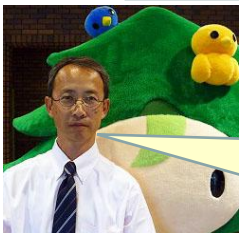
キノピーが来てくれてうれしい！
かわいい！一緒に写真を
撮ろうよ……



《全国植樹祭、来春開催です！》

今後の姿と 課題

来年に迫った植樹祭を県全体で盛り上げるために更
なる周知が必要。また植樹祭のPRを通じて森林につ
いて興味をもってもらいたい。



ディレクター
中村 和哉さん

キャラバン隊のまわりはいつも人々の笑顔で
一杯。隊員もやりがいがある仕事に充実感を
感じているようです。
隊員たちの奮闘記は、ブログでごらんください。
<http://kinopi2011.blog130.fc2.com/>



《講演会や勉強会にも参加してPR》

事例紹介

重点分野雇用創出事業 【農林水産分野】

事業概要

こめ粉の普及、こめ粉関連商品の購買意欲の増進を図るため、普及推進員を雇用する。

委託先

東とくしま農業協同組合
(徳島県小松島市堀川町3-8)

事業費

約530万円 (平成22年度)

新たな 雇用創出数

2人

事業の開始

平成22年 4月～

業務内容

こめ粉の普及を促進するため、給食施設などへの利用拡大を図るための講演会の開催や、こめ粉を利用したメニューの紹介等を行う。

事業背景

JA東とくしまでは、徳島県内有数の米産地であることから、こめ粉を製造しており、そのこめ粉を利用して、菓子やパンが販売されている。

こめ粉普及促進事業 【徳島県】

徳島県



JA東とくしま

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

徳島県 0.65倍(季節調整値)
小松島管内 0.39倍(原数値)



「こめ粉パン」の作り方講習会の様子

(こめ粉普及促進事業の実施状況)



- ◆ 徳島県内での米粉需要の拡大を図るため、学校給食関係者等を対象にした講演会を開催しました。講演会后、米粉を利用したメニューの試食を行い、参加者からはおいしいとの好評を得ています。
- ◆ 毎週米粉パン等の製造についての講習会を開き、地域の女性グループなどを対象に米粉の普及を図っています。参加者からはもっちりとした米粉入りパンが好評です。(→ 前ページ右下の写真)

久留米市地産地消推進店登録制度事業【福岡県久留米市】

事例紹介

重点分野雇用創出事業 【農林水産分野】

事業概要

久留米市では、福岡県内第1位の農業産出額を誇る市の特性を生かし、地域産農産物への愛着と「食」と「農」への理解の促進、さらには、消費拡大を図るため、平成21年度に「久留米市地産地消推進店登録制度」を開始した。当事業では、市内の小売店や飲食店などを対象に、地域産農産物を積極的に使用する「推進店」の登録拡大を図る。

委託先

NPO法人
スローフード協会 筑後平野
事務局
株式会社 トータルオフィス・タナカ

新たな 雇用創出数

2人

事業費

316万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

業務内容

市内の小売店・飲食店などに対し、地産地消の推進に協力いただけるよう、制度の周知と推進店への登録勧誘を行う。

登録店には、消費者へ取り扱い店であることをPRするための「のぼり・ポスター・ステッカー」などを配布する。

制度の周知・勧誘チラシや「久留米市地産地消推進店の紹介冊子」の作成と配布を行う。

「久留米市地産地消推進店」を知らせる
のぼり、ポスター及びパンフレット

福岡県

久留米市



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

福岡県 0.44倍 久留米市 0.37倍



調査員の声

- たくさんの飲食店さんや小売店さんにこの制度を知っていただき、登録数を増やしたい。
- 安心して地元の食材を美味しく召し上がっていただくことができる飲食店さんのことを、消費者の方々に、もっと知っていただきたい。
- 飲食店さん、生産者さん、消費者さん、皆さんが喜んでいただけると思います。
- この業務に就いて、地元食材の豊かさをあらためて感じました。
- 飲食店さんや小売店さんとの会話が仕事の励みになります。
- お店の前にはためく「のぼり」や「ポスター」を見たとき、やってよかったと感じます。
- 登録していただいた事業所から、別の事業所をご紹介いただけることが励みになります。
- やりがいのある仕事であり、この経験を生かして次の就職へ繋げていけると自信がもてました。



飲食店さんからの声

- ◆ 地産地消推進店登録制度募集の記事は見たが、忙しく問い合わせをすることも出来なかった。調査員の方が、制度の紹介や地産地消の良さについて説明をしに来てくれたおかげで、登録店になることができそうです。制度を知らなかったら、地産地消に取り組んでいることをたくさんのお客様へ知っていただく機会を失ったわけですから、本当に良かったです。
- ◇ パンフレットに掲載されたおかげで、お客様への宣伝効果があり、大変助かっています。
- ◆ 少しでも多く、安全、安心、新鮮な久留米地域産農産物を使用し、お客様へお届けしたいと思います。

小売店さんからの声

- のぼりやポスター、パンフレット掲載のおかげで、地元の食材を購入してくださる方が増えました。これまでは、地元食材をどこで買えるかがわからなかったそうです。
- 飲食店さんから、地元食材を使用したいので揃えてほしいとの相談が増えました。

